

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	保育
事業所名	大津市立和邇保育園
代表者氏名（管理者）	山本 智子
法人名	大津市
定員（利用人数）	120名（内利用人数 79名）
施設・事業所 所在地	滋賀県大津市和邇中 172-1
T E L	077-594-0063
F A X	077-594-0200
電子メール	Otsu1434@city.otsu.lg.jp
ホームページアドレス	<a href="https://www.city.otsu.lg.jp/soshiki/015/hoikuen/1434/1468911585948.html">https://www.city.otsu.lg.jp/soshiki/015/hoikuen/1434/1468911585948.html</a>

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	一般社団法人 滋賀県介護福祉士会
評価実施期間	令和7年11月18日・11月20日

### 3 評価の概要

#### ○総合評価

大津市立和邇保育園は、昭和 29 年度に開園した歴史ある保育園です。西に比良山系の山々があり、東には琵琶湖を望むことができる自然豊かな環境にある保育園です。

周囲は住宅街になっていますが、和邇駅や商業施設などの生活資源も近くにあり、自然豊かですが、日常生活にも不自由しない適した場所にあります。

また、和邇駅から京都駅まで電車で 30 分、同じく新大阪駅まで、約 1 時間と、京阪神への通勤圏として、アクセスが良い場所にあるため、京阪神のベッドタウンとして長く好まれてきた背景があります。

昭和 29 年度に開園した当初は 60 名定員でしたが、時代のニーズ（需要・必要性）に合わせて受け入れ定員を増減させてきました。現在は 120 名定員で、令和 7 年 4 月 1 日時点では 78 名の園児を受け入れました。

令和 5 年 3 月には、待望だった新園舎での保育が始まりました。新園舎は小学校就学前の子どもたちがのびのび遊べるよう、大きくて美しく、ゆったりとした設計になっています。また、園庭に出ると大きな「楠（くすのき）」が出迎えてくれます。春夏秋冬、季節ごとに葉の色を変え、いつの時代も優しく子どもたちの成長を見守ってくれている和邇保育園のシンボリックな存在です。その園庭は、「上の園庭」と「下の園庭」と称されるほど広く、そこで思い切り身体を動かして遊ぶことができます。

遊びの中には教育要素が多く含まれ遊びや集団の中でいろいろな事を体験しています。一方で個々の必要性、多様性にも十分に配慮され、安心して通うことができます。保護者への配慮も大切にしている、家庭と保育園が一体となって、24 時間切れ目なく子どもを支える体制があります。

#### ○特に評価が高い点

##### 1 各年齢の成長に合わせた保育

園児の成長に合わせ、その年齢・月齢に応じた保育を適切に実施しています。全体を通じて人間関係が遊びや生活の中で意図的に構築できる仕組みを保育に取り入れています。自我が芽生える年齢では、芽生えた自我を受け止め、尊重し、気持ちを出せる、成長につながる対応を心がけています。友達と関わる中で思いの相違がある場面では、保育者が一人一人の子どもの思いを聴きだし、気持ちを代弁し伝えるという形で仲立ちをし、友達との関わりが途切れないよう配慮しています。できるできないを感じて悩む時期には、失敗したくない時期であることを理解し、安心して過ごすことができる環境設定を心がけています。

一方で、世代間交流も大切にされています。中学生の授業の一環としたふれあい体験や、地域のシニアの方との交流を通して、保育者以外の人との関わりを図っています。

園内では異年齢交流として、5歳児が当番活動で2、3歳児と関わったり、2歳児と4歳児と一緒にリズム遊びをしたりするなど、そのような交流の機会を通して、人と関わる温かさやぬくもりを感じながら人と関わる心地よさを感じられる保育をしています。5歳児はバス遠足に出かけ、公共の場所やバスの中での過ごし方等社会的ルールについて学んでいます。交通安全教室では交通ルールを学び、散歩の時にはそれらを活用できるように具体的に示しています。また小学5年生との5・5交流で小学校の運動会を見学したり、学校体験をしたりすることで就学することへ期待する気持ちが育まれる活動に取り組んでいます。そうした交流からも園児たちは社会性を少しずつ身に付けていると評価できます。

## 2 「管理職の能力の高さ」

第三者評価全体を通して、管理職の管理能力の高さを感じました。

職員を把握し、当然、園児や保護者の様子、マニュアルや書類の整備など、多岐にわたる仕事をこなしている様子を確認し、今の管理職がいる和邇保育園は大丈夫であると、未来を感じる評価になりました。若い保育士の育成と共に中堅保育士や次世代を担う管理職の教育も急務ですので、今後に期待しています。

## ○改善を求められる点

### 1 「情報公開の工夫」

SNSが流行して、個人情報保護に関しても小さな問題では無くなってきた近年、個人情報の取り扱いや情報公開という点に関しては、どこの保育園でもそこに課題があるのは事実です。しかし、上手にSNSを活用することは、滋賀県内の同様の保育園でも工夫されていることであり、全く不可能という訳ではないはずです。園児の顔が映らないように加工したり広角な写真や動画にはなるかも知れませんが、それでもSNSに慣れた保護者が多くなってきた中では、活動の様子を視覚的に確認できることは保護者の満足度を高めることにもつながっていくと考えられます。

もちろん、個人情報に直接結びつくような情報の公開は困難ですので、保育園全体としての課題や指摘が見えた場合に文書を作成して掲示したり、第三者評価結果の公表を示すだけでも意味のある情報公開と言えるでしょう。

### 2 「総合的に、よりよい保育園運営を目指して」

より外部に開かれた保育園に一步近づくために、表のフェンスのところに、子育て広場や一般公開されている活動についての広報をもっと大きく、目立つように掲げてみるのもひとつの方法かも知れません。

また防犯・安全対策も少し弱いと見受けられました。交通量の多い道に面した保育園ですので、朝のお迎えのピークの時間だけでも交代で駐車場や道に立って警備を兼ねて出迎えると安心かも知れません。シニア世代との交流もあるようなので、スクールガードのような発想で元気なシニアに活躍してもらおう（立ってもらおう）のも方法のひとつかも知れません。

#### 4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

保育のテーマ『好きをいっぱいみつけよう！好きをいっぱいつながろう！』を掲げ、一人一人の子どもの発達保障をしながら保育運営を進めてきました。一人一人が好きなことを見つけ、好きなことから手応えを積み重ねてほしい、また、好きなことから“もっとしたいな”と満足いくまで遊びこむ、自ら主体的に遊びに向かう子どもたちになってほしいと願って保育をしてきました。今回、各年齢の成長に合わせた保育内容を高く評価していただき、嬉しく思います。

改善点にありました個人情報保護について、昨今 SNS が流行し、個人情報保護に関する問題が起こっている中、個人情報の取り扱いに関しては、注意しております。保育内容の変更等の際には、必ず保護者に文書で周知しております。引き続き保育内容に変更が生じた際には、丁寧に周知し、理解と協力をいただけるよう努めていきます。

また、防犯・安全対策についてご指摘を受けました。どこからでも入りやすいといった防犯面と、駐車場の安全面の課題につきましては、門扉の施錠の徹底、地域の方とも共有相談しながら引き続き安心、安全な保育園運営に努めていきます。

今後も、職員間で学びを深めながら、保護者とともに、一人一人の子どもの人権を尊重する保育を進めてまいります。